

「看護学校で頑張った経験が今に繋がっている」



齊藤 菊枝 氏

所属 医療法人社団武蔵野会

TMG 宗岡中央病院

—看護師を志したきっかけはありますか

私は2～3年ほど、家族の介護をしていた経験があり、それから看護師になることを志しました。当時、友人から准看護師の話聞き、いずれ看護師を目指せる准看護師の学校へ行きました。

最初は准看護師としての就職を考えていましたが、周囲の助言と、友人から進学を進められたことをきっかけに進学を決めました。看護師は勉強の幅も広く、経験もより身につくと考えます。大変ではありますが、看護師の資格取得は今後も働く上で良いと思いました。

—進学先の学校を選ぶ基準について

准看護学校は自宅から遠く、今度は絶対に近い学校が良いと思い、距離を基準に決めました。准看護学校の授業時間は半日のところ、看護学校では1日となる為、家から近い学校を迷わず選択しました。

—進学までに準備したことはありますか

試験対策として、志望校に進学した先輩からテストの傾向や面接の様子を聞いて準備し、試験に臨みました。

—経済的な面はいかがでしたか

学費については、社会人で働いていたため、貯金で工面しました。奨学金や給付金制度については、困ったら相談しようと考えていましたが、利用はしませんでした。

—学生生活について教えてください

実習が大変でした。1年生の実習の頃からは毎日勉強しました。帰宅後2～3時間は集中しないとついていけなかったです。睡眠時間は5～6時間は取っていました。自宅から学校が近かった点が良かったと思います。

学生は年齢に幅がありましたが、若い人とも普通に話せていましたし、年齢の近い人とも話ができ楽しかったです。クラスメイトに恵まれたと思います。自分の課題でつまづいているところがあれば、お互いに相談し、サポートしていました。

休みの日はストレス解消に、食事に行ったり、買い物に行ったりしていました。学校は大変でしたが、楽しかったです。

一家庭と学業の両立・工夫について

家族の協力がありました。勉強する時間と家のことをする時間を整理し、メリハリをつけていました。家のことがおろそかにならないように、自分の時間を作って学業に集中していました。

一国家試験対策について

国家試験対策の予備校に行ってみんなで勉強しました。国家試験は最後まで本当に勉強したなと思います。学校が休みの時は、午前午後で3時間程度など時間を決めて、集中して何度も繰り返し勉強しました。合格後は「やっと終わった」と開放感がありました。

一看護師になってどうでしたか

看護師になって10年目になります。

現在の所属の前に、救急で働いていたことがありました。社会人を経て看護師になったため、本当にできるか不安がありました。周りの人にも恵まれ、皆で研修に行ったりして頑張ることができました。今は母の介護があつてなかなかできないこともありますが、頑張った経験が今に繋がっていると思います。一緒に頑張ろうと言ってくれる周りの人や、職場の雰囲気、人間関係はやっぱり大切だなと感じました。職場も学校もスタッフに恵まれ、色々な面を考慮してくれていて働きやすいです。

今はチームリーダーの役割を担っていますが、教えること・まとめることは大変で難しいと感じています。

母の介護は一人ではなく、兄弟と協力しています。介護だけをしているとストレスになってしまうので就業を継続している方が良いと思いました。また、「辞めないで」とスタッフに声をかけられ、人に支えられていると感じます。

一准看護師へのメッセージ

社会人の時は勉強をする習慣から離れていました。看護師を目指してからは勉強を継続することができ、資格取得に繋がったと思います。勉強から遠ざからず、続けていくことが大切だと思います。

上司からのメッセージ

斉藤さんは今までの看護経験を活かし、当院の外来で活躍されています。当院は小規模病院であるため、外来看護師に求められるスキルは、各科外来診療の補助から内視鏡、健診センター、訪問診療まで多岐にわたります。

外来の夜勤や休日勤務の時は、いつも病棟を気にかけて、隙間の時間は、今までの看護経験を活かし病棟の支援を積極的に実践してくれます。今年の年始も病棟看護師から「菊枝さんに、助けてもらいました」と報告がありました。

患者さんにも職員にもやさしい斉藤さん…介護と仕事の両立をされており尊敬の念を抱いております。これからもよろしくお願いいたします。

看護部長 崎田一美